

令和5年度 立川市立第三小学校 学力調査等の分析について

調査名	児童の実態や課題	児童の実態や課題を受けて、目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取組（学習活動など）
全国学力・学習状況調査	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平均正答率は、東京都、全国平均ともに超えている。 ○思考力・判断力・表現力等のB「書くこと」の正答率については、平均を大きく超えている。しかし、正答率39.7%は、その他の問題に比べて正答率が低い。 ○選択式、短答式の問題形式の正答率は70%を超えているが、記述式の正答率は60%を下回っている。 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平均正答率は東京都、全国をともに超えている。 ○C「変化と関係」D「データの活用」については平均点を大きく超えている。 ○記述式の問題になると正答率が下がる傾向にある。 	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○思考力・判断力・表現力 ○文章全体の構成や展開を考えて書く能力 ○文章を要約したり、要旨をまとめたりする能力 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○思考力・判断力・表現力 ○記述式の問題に対する読解力 	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的をもって文章を読ませ、筆者の主張や中心となる文を捉えさせる指導の充実 ・筆者の主張に基づいた、自分の考えをもたせる指導の工夫 ・自分の考えを表現させるため、書くことに重点をおいた指導の工夫 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをノートに表現する過程の設定 ・記述式問題を繰り返し行う時間、自分で問題を作成する時間の設定
東京ベイシック・ドリル	<p>課題のある設問</p> <p>【2年生（1年生の指導内容）】 「ひき算」「おおいかず」</p> <p>【3年生（2年生の指導内容）】 「長さ」「水のかさ」「時こくと時間」</p> <p>【4年生（3年生の指導内容）】 「三角形と角」「かけ算の筆算」</p> <p>【5年生（4年生の指導内容）】 「垂直、平行と四角形」「面積」</p> <p>【6年生（5年生の指導内容）】 「単位量あたりの大きさ」「平均」</p>	<p>【2年生】 問題の意図を捉えて答えたり、数の系列や大小を理解したりすることができる力</p> <p>【3年生】 基本的な単位換算の知識・技能、「12進法」「60進法」「24進法」の理解</p> <p>【4年生】 図形を作図する力、乗法の筆算の仕組の理解</p> <p>【5年生】 図形の用語や意味の知識、面積の求め方における思考力・判断力・表現力</p> <p>【6年生】 問題文の読解力と「平均」の意味と求め方の理解</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問題場面をイメージさせ、それを半具体物で表出させる活動 ・数学的表現を用いて説明する活動 ・基本的な単位換算表の掲示、時刻と時間を可視化し、正確に読み取ることのできる指導 ・問題場面を具体物や半具体物でイメージしたり、半具体物を操作したりして、考えさせる指導の工夫 ・図形の作図、部分積を書く位置などの繰り返し指導 ・図形を見る観点として、辺の相等や並び方に加え、「対角線の交わり方」に着目させる指導 ・図形用語の掲示、図形の一部を移動する、分割するなど既習事項に帰着させて考えさせる指導の工夫 ・前学年の関連する指導内容を見て、つまづいている内容に焦点を当てた補的な指導
東京都児童・生徒体力・運動能力調査	<p>全体としては、全国平均・東京都平均と比べると、同等もしくは高くなっている。ただ、高学年で「20mシャトルラン」、低・中学年で「ソフトボール投げ」が課題として挙げられた</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○高学年の持久力 ○低・中学年の巧緻性 	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動における動きを持続する運動、巧みな動きの運動に重点を置いた指導 ・ゲーム、ボール運動領域における投動作の機会の確保